

学校再編住民説明会質疑応答

美浜町学校再編に関するQ&Aについて

本町小中学校再編に関して、先日開催しました学校再編住民説明会で寄せられたご意見ご質問に対して、回答をまとめましたので報告します。

なお、今後も引き続き、保護者をはじめ、地域の方々、関係者との協議を重ね、詳細が決まったものについては随時、回答を加筆・修正することがありますのでご承知おさください。

項目	質問	答え
1 建設場所	建設場所はいつどのようにして決めるのか。	候補地の3つのエリアの中で、具体的な複数の候補地のメリット・デメリットを比較検討しています。候補地を住民の皆さんに示し、アンケートを実施し、候補地についての説明会を開催する予定です。令和5年度末までには決定したいと考えています。
	学校の場所は住宅地に近いところにしてほしい。	学校は基本的に住宅地の近くに造るのが大前提であります。
	日本福祉大学の跡地を活用してはどうか。	仮に大学の施設をそのまま使うことになると、階段の高さ、トイレなどの改修が必要になります。
	西部地区に新設し、名鉄電車を利用しての通学はどうか。	名鉄電車での通学は試算しましたが、莫大な費用が想定されます。
2 適正規模	教員の配置や少人数学級を進めていく予定は。	教員の配置については、県に要望していきますが、学級数によって教員の数は決められています。少人数学級をさらに推進するためには町単独での予算確保も必要となります。
	建設する学校はどのようなものを考えているのか。	面積は概ね6～8ヘクタール程度、校舎は小中一緒である必要はないですが、同じ空間で活動できる場所は必要と考えています。職員室は小中一緒、体育館とグラウンドはそれぞれ必要であると考えています。
3 小中一貫校	小中一貫校とは。	小中9年間での体系的な教育カリキュラムが特徴であり、小学校と中学校の連携が図れるものとなります。
	小中一貫校は同じ敷地に必要なのか。	同じ施設内での一体型の方が教育効果は高いと考えています。
	学校再編は小中一貫校を作るとのことか。	児童生徒の減少に伴う単なる統廃合ではなく、美浜の特色を活かした小中一貫校を進めていきたいと考えています。
	東西で1校ということも検討したのか。	当初、東西に一つずつを考えましたが財政的なことも考慮し小学校1校、中学校1校が適切であると考えています。

学校再編住民説明会質疑応答

項目	質問	答え
4 跡地利用	跡地の利用について。	体育館は防災施設、グラウンドは地域のスポーツ拠点として使用し、校舎は民間に売却もしくは貸与し利活用していきたいと考えています。
5 地域とのつながり	地域と学校の連携は。	地域の人にできることを手助けしてもらえような地域学校協働本部を学校に設置したいと考えています。
	学校と地域は多様な組織があるがスリム化にならないか。	地域なしでの学校運営は成り立たちません。学校再編の議論と併せ今後検討していきます。
	建設場所とコミュニティの衰退が心配。	東、西ではなく、「美浜」の子どもを育てていきたいと考えており、これまでの地域文化をどのように継承していくか今後検討していきます。
6 子どもや保護者への配慮	児童生徒の事前交流やアンケートを実施してはどうか。	事前交流は可能な範囲で行っていききたいと考えています。
	統合されても特別支援教育を手厚くしてもらえるか、また制服等は。	できる限り、特別支援アシスタントの継続配置で支えていきます。制服等は、生徒の意見も聞きながら検討します。
7 通学方法	通学方法について。	建設場所が決まったら具体的に協議していきます。子どもの安全最優先で保護者とともに検討していきます。
8 今後の進め方	先進地の自治体のメリット、デメリットを参考に専門家の意見も交えてほしい。	県内他市町の小中一貫校の建設に関わっている大学教授にアドバイザーとして参加してもらっています。
	当初は令和7年開校が令和10年目標となった。今後変更なく進めてほしい。	今後土地の確保や地域との協議など課題はあるが、令和10年を目指して進めていきたいと考えています。
9 教育課程	ハード面ではなく教育の中身にお金を使ってほしい。	教育内容も魅力あるものにしていきます。
	外国語の充実やICT教育の充実を。	段階的に進めていく予定をしています。
10 その他意見	知多地域で初めての小中一貫校でいいと思う。他地域にない魅力ある学校整備をしてほしい。	
	財政面が心配である。	
	学校は子どもたちのためにあるので子どもの意見を聞いてほしい。うらやましくなるような学校を造ってほしい。	